



事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱つづき			
保護者評価実施期間	2025年 2月 27日		～	2025年 3月 14日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	22
従業者評価実施期間	2025年 3月 14日		～	2025年 3月 22日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と綿密に話し合って作成された個別支援計画に沿った支援ができています。	6ヶ月に一度の保護者との面談で丁寧に支援内容を話し合い、その発達段階において必要な支援に取り組むよう心掛けている。	職員全員が集まる機会を設けて、そのタイミングでそれぞれの個別支援計画についての情報を周知する職員会議を実施していく。
2	SSTトレーニングを定期的実施している。	子どもの実態に合わせてSSTトレーニングを実施している。PowerPointのスライドを用いるなど、視覚的に伝わるよう工夫している。	子ども達がより正しいコミュニケーションを身に付けるよう、実践練習する機会を多く設けるようにする。
3	余暇活動の選択肢が複数用意されている。	多種多様なボードゲームを通して、複数人でルールがあるゲームを遊ぶことで得られる達成感を感じられるようにしている。	子どもの実態に合わせて、その時々マッチする余暇グッズを充実させられるよう意識していく。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭く、活動スペースを確保することが難しい	施設が古くなってきたこともあり、子どもたちが伸び伸びと活動するにはスペースが不足気味である。	支援道具を取捨選択し、活動スペースをなるべく確保できるようにしている。また、ゆくゆくは施設の転居も視野に入れていく。
2	階段の傾斜がきつく、危険である	活動スペースの都合上、どうしても階段の上り下りが多くなってしまいがちだが、急な傾斜の階段で危険性がある。	階段から落ちてしまった時のために、階下にクッションを設けるなど、安全対策を万全にする。
3			